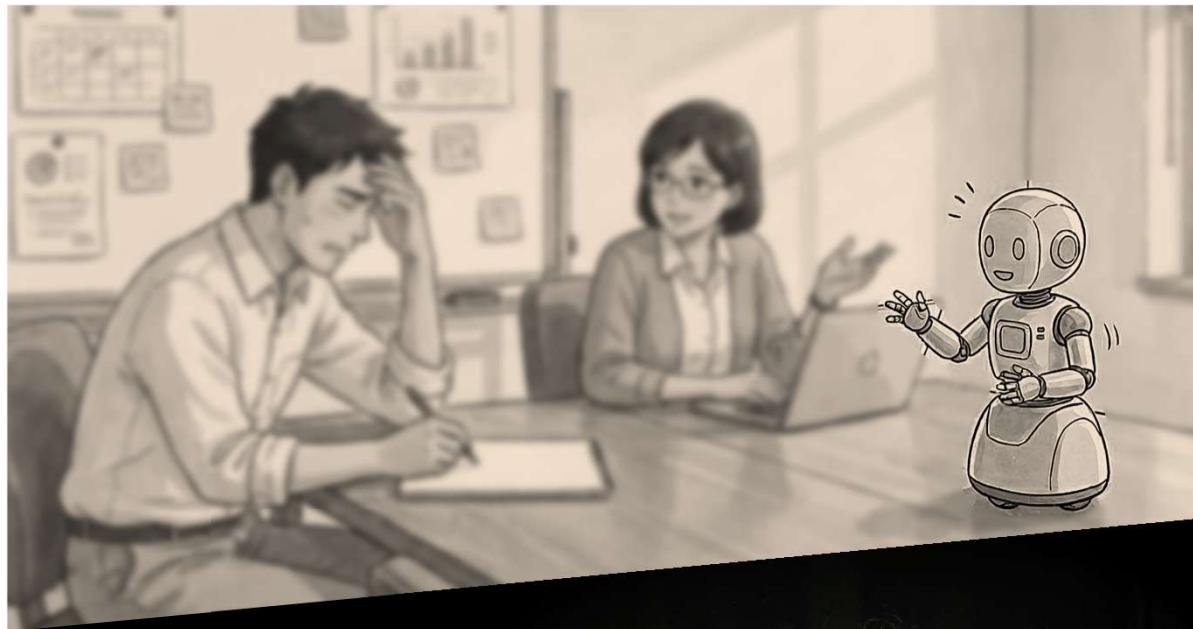


隣人としてのロボット？ —レビィナス哲学から見るロボット倫理



人間の愛着を誘うように設計されたソーシャル・ロボットたち——彼らを単なる「便利な所有物」として扱うべきでしょうか。それとも、尊重すべき「隣人」として迎え入れる日が来るのでしょうか

本セミナーではこうした問い合わせを深める手がかりとして、フランスの哲学者エマニュエル・レビィナスの思想に注目します

提題者

渡名喜 庸哲（立教大学）

石井 雅巳（山口大学）

司会・問題提起

立花達也（金沢工業大学）

主催：金沢工業大学

科学技術応用倫理研究所

共催：レビィナス協会



開催日時：2026年1月24日（土）14:00～16:30

開催地：Zoom／金沢工業大学扇が丘キャンパス・1号館 302教室

参加登録フォーム：<https://zoom.us/meeting/register/nGRgNdiCTOSK3JDdWs4KDg>

←参加登録はこちらから（上記URLと同一）。※現地参加をご希望の方もご登録ください

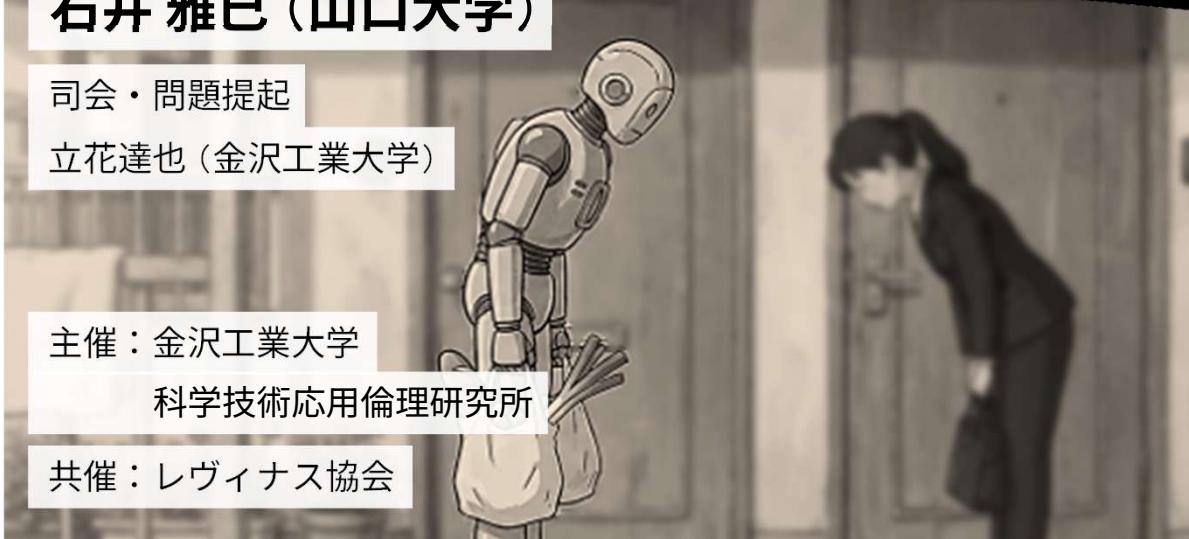
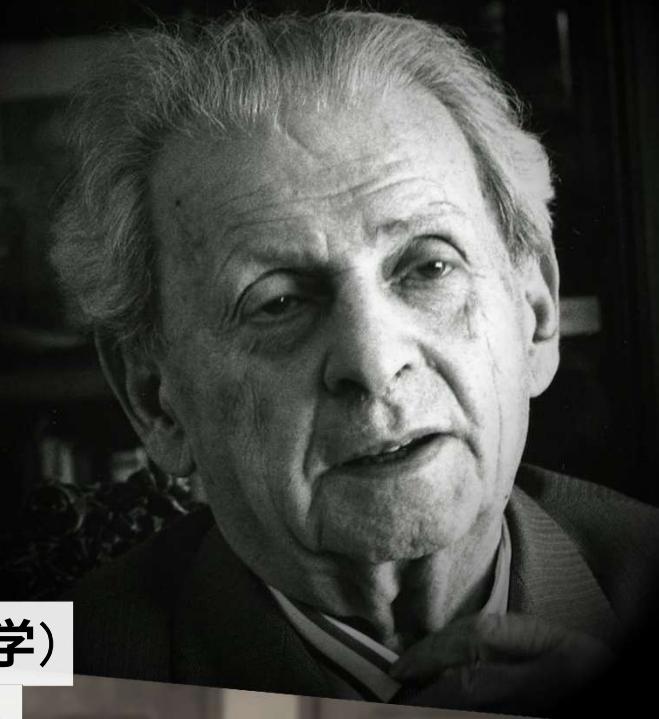


Image Credits (Top & Bottom): Generated by Gemini
(Middle, Photo cropped): "Emmanuel Levinas" by Bracha L. Ettinger,
licensed under CC BY-SA 2.5 (<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/2.5/>)